

2019年8月22日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ  
株式会社三菱UFJ銀行

## サステナブルビジネス室の新設について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 <sup>みけかねつぐ</sup>三毛兼承、以下 MUFG）は、金融機関の使命として、長期的な視点でお客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現することを経営ビジョンに掲げております。

MUFG の連結子会社である株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 <sup>みけかねつぐ</sup>三毛兼承、以下当行）は、その実現に向けた取り組みとして、本日、新たにサステナブルビジネス室を設立しました。

### 1. 背景・目的

足元、SDGsをはじめ、気候変動を含む環境・社会課題に対する企業の取り組みに期待が高まる中、これらの課題への対応は、企業の持続的な成長に、ますます重要な要素となりつつあります。

MUFG では、これらの課題は、企業にとってリスク要因となる一方、早期に課題を把握し対応することで、事業活動の機会にもなり得るものと認識しております。

かかる認識をふまえ、MUFG は、お客さまが置かれている中長期的な事業環境の変化を捉え、お客さまの持続的な成長を後押しすることにより、ひいては MUFG の持続的な成長と企業価値の向上を目指します。

これまでも、MUFG は、太陽光・水力・風力・地熱発電などのクリーンエネルギー事業に関連したファイナンスリードアレンジャーのリーグテーブルにおいて、民間のグローバル金融部門で3年連続世界ランキング第1位<sup>\*1</sup>を達成し、当行でも、赤道原則をはじめとした環境・社会リスク管理の高度化を進めるなど、グループ一体となって、サステナブルビジネス推進に積極的に取り組んでまいりましたが、今般、当行は、これまでに蓄積された知見と経験を集約、より一層強化すべく、サステナブルビジネスに横断的に取り組む専門組織を立ち上げました。

### 2. 「サステナブルビジネス室」の概要

中長期的な環境・社会の変化が、お客さまの事業に及ぼし得る正負の影響、およびサステナブルビジネスの現状と今後の展望を的確に把握することにより、必要とされる環境・社会課題に向けたリスク管理の高度化、ESG 動向を踏まえたローン商品の開発や出資の検討などを含む、新たな金融ソリューションを提案・提供します。

サステナビリティの観点で、お客さまの事業における中長期的な環境・社会課題に対して、その解決策を共に検討し、また、将来にわたる大きなビジネス機会の創出・拡大をサポートすることなどを通じて、お客さまの持続的な成長を後押ししてまいります。

MUFGは、2018年5月のMUFG環境・社会ポリシーフレームワーク<sup>\*2</sup>制定、2019年5月のサステナブルファイナンス目標<sup>\*3</sup>の設定に続き、本日、責任銀行原則の賛同表明についても公表<sup>\*4</sup>しており、持続可能な環境および社会の実現に向けて、さらなる取り組みを推進してまいります。

\*1 Bloomberg New Energy Finance ASSET FINANCE/Lead arrangers LEAGUE TABLE

\*2 「MUFG環境方針」「MUFG人権方針」「MUFG環境・社会ポリシーフレームワーク」の制定について  
[https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2018/pdf/pressrelease-20180515-005\\_ja.pdf](https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2018/pdf/pressrelease-20180515-005_ja.pdf)

\*3 「サステナブルファイナンス目標」の設定と「MUFG環境・社会ポリシーフレームワーク」の改定について  
[https://www.mufg.jp/vcms\\_1f/news/pressrelease-20190515-001.pdf](https://www.mufg.jp/vcms_1f/news/pressrelease-20190515-001.pdf)

\*4 責任銀行原則への賛同表明について  
[https://www.mufg.jp/vcms\\_1f/news/pressrelease-20190822-003.pdf](https://www.mufg.jp/vcms_1f/news/pressrelease-20190822-003.pdf)

以 上